

■デンマーク：大手電力会社が再エネに注力するため配電事業を売却へ

デンマークの電力事業者のエルステッド社は 2018 年 6 月 26 日、取締役会において、国内の配電事業などを売却することを決定したことを発表した。エルステッドは昨年 10 月に Dong エナジーから社名を変更したが、近年、欧州やアジアなどで洋上風力事業への投資を活発に行っていた。エルステッドの声明では、年間投資額の 85%が洋上風力関連に向けられており、さらにその他の再生可能エネルギーを含めると割合は大きくなる。一方、国内ではコペンハーゲンや周辺で 100 万軒への配電事業や小売事業を行っているが、今後の成長は限られていると同社は分析している。再生可能エネルギー事業は今後もコスト低下が続き、補助金の活用は少なくなると想定され、エルステッドとしては今後も洋上風力をはじめとする再生可能エネルギーの割合を拡大する方針で、この分野の事業戦略上の重要性は高まることから、今回の決定に至ったと説明している。今後は 2019 年の上半期中に売却先の選定に向けた検討が開始されると見られるが、年金基金などが候補として上がっている。